



ふくおか
ものづくり補助金
成果事例集

完全無農薬赤しそを原材料とした低温蒸留法による 完全無農薬・高水準自然化粧品の開発・販売

赤しそを原料にした化粧品。合成成分の無添加を実現する中、課題は鮮度の維持でした。高品質な原料とこだわりの製法を用いてもパッケージ作業に時間がかかっては強みを生かせません。そこで充填装置及び真空包装機を導入して、その解決を図りました。



赤しそを原料にした化粧品「シズージュ」シリーズ

PICKUP STORY

農商工連携で乗り出した新製品開発

自然派化粧品への意識を高めるきっかけにもなった、芦屋町への本社工場移転。特産品の赤しそに会い、化粧品原料としての潜在力を知ります。農商工連携により商品開発はスムーズに進行しましたがボトルネックは充填工程でした。防腐剤を使わなくても劣化しない効率的な設備の導入が不

可欠でした。

化粧品製造、原料へのこだわりを徹底

美容薬理はOEM（相手先ブランド）生産をメインに自然派化粧品を製造販売するメーカーです。近年は赤しそ由来の自社製品を「シズージュ」ブランドで展開。徹底した無添加にこだわり、自社で品質を確認し、コントロールできる原材料しか使いません。本社

工場周辺に2万平方メートル超の原料生産畑を確保し薬草やハーブなどを栽培するとともに、山林の自生植物も原料にしています。町



製品の鮮度向上に貢献した充填機

特産の赤しそを自然派化粧品に。設備導入で実現した高品質

内の農家とともに、原料から製品まで一貫製造する拠点化を目指しています。

手作りを生かすための機械化に成功

ものづくり補助金では充填装置と真空包装機を導入しました。金井社長は製造設備について「ブランドを完成させるためのツール」と説明します。少量多品種による小ロット生産が多数を占める同社。中身が自然派であることに加えて、手作りの良さも品質に反映されています。

一方、手作業でのパッケージングでは量の微調整などに時間を取られ、製品の鮮度に影響していました。自動化機械を使いますが、あくまで手作りの品質を生かすため。



「機械化は手作り品質を生かすため」と話す金井さん



原料栽培から一環して化粧品製造に取り組む

設備導入で包装のしわや破れがなくなるなど、歩留まり改善にもつながりました。

POINT

● 補助金活用 ここがポイント ●

特殊な液性に対応、
時間との勝負に力

防腐剤を使わない化粧品の製造は「時間との勝負」（金井さん）。特に液体を容器に詰める充填工程は、量の微調整をしては空気に触れる時間が長くなって劣化につながります。特殊な液性でもあり、充填装置は速く定量を詰める点で大いに力になりました。開発から、原料の生産・調達、製造、販売に至るまで、それぞれが製品を形作るのに不可欠なピースです。

COLUMN

生産体制固め、コスメの拠点産地へ

Q1 公的補助金をうまく活用しています

そもそもは農商工連携の制度を活用したことがきっかけです。この制度に出会っていなければ、ものづくり補助金の申請もなかったでしょう。設備投資を重ねて、生産体制を固めている段階です。

Q2 目指す将来像は

本社のある芦屋を『ハーブバレー』として、もり立てることです。休耕地を大規模に借り受ける構想も進んでいます。農家とも連動しながら、農業から製造、美容、観光まで一貫した産地にしたいと考えています。

DATA

美容薬理 株式会社



代表者 代表取締役社長 金井 誠一
所在地 〒807-0141
福岡県遠賀郡芦屋町大字
山鹿814-1
TEL 093-221-5500
FAX 093-221-5501
URL <http://anna-t-cosme.co.jp/>
事業内容 化粧品製造・販売業

資本金 1000万円
設立 2001年（平13）
従業員数 28人

